



平和都市 笑顔の傘咲く

長崎原爆忌を前に、世界の子どもたちの笑顔をプリントした傘約100本をさして平和を訴える「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が7日、長崎市の平和公園や浦上天主堂前で行われた写真、貞末ヒトミ撮影。

NPO法人「メリー・プロジェクト」(水谷孝次代表、東京都)が企画し、学生ら約150人が参加した。傘には、同時テロ後の米・ニューヨークや大地震で被害を受けた中国・四川省など26か国の子どもたちの顔写真を印刷。照りつける太陽の下、学生たちは傘を一齐に広げて行進するなどし、通行人や観光客にアピールした。

水谷代表は「若い人たちが笑顔で参加してくれ、最高にうれしい。活動の波紋が世界に広がってくれば」と話していた。